

令和7年度紀の川市立名手小学校スクールプラン

紀の川市学校教育指針

「一人一人の子供が主語となる
学校教育の実現をめざして」

保護者や地域、教職員の願い

- ・学習習慣を身につけ、基礎・基本を確実に習得し、お互い学び合って学力を高めてほしい。
- ・明るく活発な雰囲気大切に、思いやりの心をもった言動ができるようになってほしい。
- ・規範意識をもち、あきらめず頑張る気持ちを大切にしてほしい。
- ・学校や地域に誇りをもってほしい。

【学 校 教 育 目 標】

豊かな心をもち、自ら学び、
自らを高めながらたくましく生きる児童の育成

【めざす児童像】

- ねばり強く考える子
- やさしく思いやりをもってともに伸びようする子
- 強い心と体をもった子

前年度の学校評価

- ・自己肯定感・自己有用感の高揚を図る
- ・自分の思いや考えを自分の言葉で表現できる力を育てる
- ・担任・養護教諭・SC・その他の教職員等が連携し、心・身体の安定を図る
- ・一人一人の保護者との信頼関係に努める

児童の実態

- ・子供たちは、明るく活発な児童が多い。
- ・コロナ禍の影響もあり、集団で行動することやしっかり声を出して学習活動する等の経験が不足している。

研究主題

主体的・対話的に学ぶ子どもの育成を目指して

重点目標

【豊かな心の育成】

- ◎学習規律の強化
- ・道徳性の育成
- ・支持的風土のある集団づくり

具体的な取組

- ・道徳の授業を要とした全教育活動で道徳教育を推進し、児童一人一人に「思いやりの心」を育てる。
- ・凡事(挨拶・返事・掃除の時間・授業中の姿勢等)の徹底を図る。
- ・自己肯定感・自己有用感の高揚を図る。

指標

- ・挨拶・返事・掃除の時間・授業中の姿勢等の徹底
(児童・教師80～90%)
- ・学校が楽しいと感じる(児童90%)

【確かな学力の向上】

- ◎探求的な学習や体験活動を通じ他者と協働しながら学びを深める
- ・主体的・対話的学習の推進

- ・一人1台タブレット及び電子黒板を積極的に活用する。
- ・漢字・計算等基礎学力の習得を徹底する。
- ・自分の思いや考えを自分の言葉で表現し、伝える力を育てる。
- ・家庭学習や読書の習慣づけに取り組む。

- ・県学習到達度調査で、県平均に達成する
- ・わかる授業、考えを伝え合う授業
(児童・教師80%)

【健やかな体の育成】

- ◎基本的な生活習慣の確立
- ・生活安全・交通安全・防災安全意識の強化
- ・外遊びの重視
- ・体力向上の推進

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめ、家庭と連携して基本的な生活習慣の確立に努める。
- ・スマホやネット利用についての理解を深め、健康な心と体を育む。
- ・登下校指導や避難訓練を通して、危機回避能力を育成する。
- ・基礎体力の向上に向け、朝のトレーニングを充実する。

- ・きのくにチャレンジランキングに全クラス参加
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」
(児童80～90%)
- ・スマートフォン・ゲーム等のネット利用の約束を守る(児童80～90%)

【信頼される学校】

- ◎家庭・地域との連携
- ・保育園・中学校との連携
- ・地域の資源の活用推進

- ・学年通信・学校便り・HPで積極的に学校の情報を発信する
- ・一人一人の保護者との信頼関係に努める。
- ・育友会・共育コミュニティ活動を通して保護者・地域との連携や学びの充実を図る。
- ・令和10年の統合に向けて、統合する学校間で交流会をするなどし、できるだけスムーズな統合ができるよう努める

- ・学校の様子を発信する
(教職員80～90%)
- ・HPでの情報発信
(教職員80～90%)

◎…特に重点的に取り組むこと